

ハジマルフケラム プロジェクト

Talk Event

2016年2月28日(日)

時間：午前10時半～12時半

場所：仙台市民活動サポートセンター
4F 研修室5

定員：25名

参加費：500円

東日本大震災を機に、仙台で活動を始めた
2つの団体をゲストに迎え、
活動への想いやこれまでの活動について
お話をうかがうトークイベントです。

GUEST

NPO 法人 ボランティアインフォ

副代表 **馬場 隆介** さん

NPO 法人

子どもグリーフサポートステーション

事務局長 **相澤 治** さん

ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなげる

NPO 法人 ボランティアインフォ

東日本大震災の後、ボランティアを求める人とボランティアをしたい人とのマッチングが急務でした。

ボランティアインフォは、ボランティアを求める人と、したい人をつなげるために、震災に関連したボランティア募集情報と緊急災害ボランティア情報の収集と配信をしています。

また災害時に関わらず、イベントなどでボランティアを募集する際の企画から募集、当日のコーディネートも行っています。

これまでの「ボランティア活動」へのイメージや考え方の幅を広げ、ボランティア活動が身近にある社会を目指しています。

死別を経験した子どもの心のケアプログラムを開催している

NPO 法人 子どもグリーフサポートステーション

東日本大震災により約2000人以上の子どもが親をなくし、約300人が孤児になりました。日常生活でも、毎日約30人の子どもが自殺により親をなくしています。災害に限らず親と死別してしまう原因は、交通事故や犯罪被害など様々です。

子どもグリーフサポートステーションでは、学習支援やグリーフケアを通して遺児遺族らが死別後の人生を歩めるようにサポートしています。

また、遺児遺族を支えるボランティアの育成もしています。

親を亡くしてしまった子どもとその家族の未来を良いものに、そして広く支え合える社会を目指して活動している団体です。

※グリーフケアとは、身近な人の喪失や死別による悲嘆(グリーフ)に寄り添う支援です。

市民活動を「知る時間」



市民活動をしている人ってどんな人？どんな思いで活動を始めたんだろう？
 ハジマルプログラムプロジェクトとは、実際に活動する人たちのお話を聞きながら交流するトークイベントです。
 自分の住むまちや社会をもっと暮らしやすくするために、異なるテーマで活動する2つの団体をお招きして、始めたキッカケや思いなどを伺います。さまざまな視点が混ざり合うトークを楽しみながら、自分のできることや、好きなことを社会に活かす方法を見つけませんか。

お申込書

お名前		
ご所属		
ご住所		
TEL FAX		Mail

ご記入いただきました個人情報につきましては、当センター事業以外では使用いたしません。

アクセス

- ・ JR 仙台駅西口から徒歩約 15 分
- ・ 地下鉄南北線広瀬通駅 西 5 番出口すぐ
- ・ 地下鉄東西線青葉通一番町駅 北 1 番出口 徒歩 8 分
- ・ 市営バス「商工会議所前」「電力ビル前」 徒歩 3 分

サポートセンターには、駐車場・駐輪場はございません。
 お近くの有料駐車場や駐輪所をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。



問い合わせ・申込み：仙台市市民活動サポートセンター

TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 / MAIL sendai@sapo-sen.jp

※電話・FAX・窓口でも受け付けています。メールでお申込の方は、件名を「知る時間」として、氏名・住所・TEL・FAXをお知らせください。